

授業科目名 (英訳)	産官連携特別セミナー（熟議） I Special lectures and discussion for leadership(Juku-gi) I				担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 関係教員					
配当学年	1回生	単位数	4	開講年度 開講期	H27 通年	曜時限	土/3・4 (隔週・変則講義)	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
【授業の概要・目的】											
<p>本講義は、財界、産業界、官界（行政機構、国際機関）、教育界などにおいて、リーダーとして十分な経験と実績を有する各界の第一人者の方々を招聘し、半日に亘る座学と集中討論を行う。現在の我が国および国際社会が直面している主要な問題に関して、現状の把握と今後の展望、必要とされる取り組みを学ぶと同時に、受講生が自ら問題を考え、どうアプローチするかを考え抜く場として提供される。これにより、様々な局面で直面する課題に対する分析法・対処法を修得するとともに、多様な思考が可能となる柔軟性と個々の専門分野に限定されないより広い視野、更に将来リーダーとして活動する上で必須のモチベーションとリーダーシップの涵養を図る。</p>											
【到達目標】											
<p>現代社会が置かれている状況についての的確に把握するとともに、どういう取り組みが現在求められているか、そのためには何が必要か、等々について自ら考える力を身につけることをめざす。</p>											
【授業計画と内容】											
<p>講義は通年で隔週土曜日午後実施する。毎回1人の各界のリーダーから、それぞれ専門領域で問題となる事項に関しての現状分析、実務経験に基づく問題点の提示と解決法の例示などの講義を受け、その中で各人が問題への対処法やリーダーとして要求される資質について学習する。また、特定の問題について、熟議講師と聴講学生がディベートを行い、多様な思考法を身につける機会とする。熟議講師から予め特定のテーマに関する調査や予習すべき書籍・文献の指示がなされる場合には、受講前に十分な事前学習が要求される。熟議終了後は担当講師よりレポート課題が提示されるので、2週間以内にレポートを提出することが義務づけられている。具体的な日程別熟議講師の氏名とテーマは改めて配布する。熟議担当講師の経歴や専門は次の領域に亘る。</p>											
<ol style="list-style-type: none"> 1)財界（世界的な企業や国内大型企業の執行役員） 2)産業界（著明起業家、会社経営者） 3)官界（省庁の幹部経験者、国際的機関の理事） 4)教育界（教育支援NPOの代表者、女性研究者） 5)その他グローバルな問題や国際協力に関する専門家 											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
講義時のディベートや調査報告、講義後レポートを通して、到達目標を達成したかどうかを判断する。											
【教科書】											
無し											
【参考書等】											
必要書籍がある場合は熟議前にアナウンスの予定											
【授業外学習（予習・復習）等】											
現代社会が抱える諸問題をめぐって、事前に自主的に調査や分析を行っておくこと。											

【その他（オフィスアワー等）】

提示された課題に関する事前調査およびディベートでの積極性を重視する。特段の理由がない限り、全講義への出席が必須である。